

2022/8

## リサーチ

NO 135

通巻

192

令和4年8月25日

発行者  
北海道公民館協会  
会長 山本 進060-0002  
札幌市中央区北2西7  
かでる2.7(9F)  
道立生涯学習推進センター内  
011-271-2825

**北海道公民館協会会長 東神楽町長 山本 進**

北海道内の公民館関係の皆様、社会教育関係の皆様には、日頃から当会の活動に際し、ご理解ご協力を賜つておりますことに深く感謝申し上げます。新型コロナウイルスの感染は少し前までは収まってきたように思えておりましたが、7月になつて第七波となつて感染が拡大しております。新型コロナウイルスの感染発覚から既に3年目となつていますが、未だ社会に混乱は続いております。それでも現段階では「蔓延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」を発するということではなく、社会もコロナと共に存という事なのでしょう。引き続き感染予防に努めながら活動していただきたいと思います。

さて、今、国政や地方行政において、大きなテーマは「ゼロカーボン」と「デジタル化」です。今回は

## ゼロカーボン、デジタル化と公民館



この2点と公民館について考えてみたいと思います。まず「ゼロカーボン」についてです。地球の温暖化が止まらず、世界中で異常な気象も続いているあります。その原因である、これ以上の温暖化を防止するため、世界中で取り組みが進んでいます。2015年には気候変動枠組条約締約国会議（COP21）が開催され、気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定に合意しました。いわゆるパリ協定というものです。日本も世界の取り組みに遅れないよう、2020年には当時の菅首相が「日本は2050年まで温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことをここに宣言する」として、ゼロカーボンへの取り組みを宣言しています。これに応じて多くの地方自治体でも「ゼロカーボン宣言」を行い、二酸化炭素の排出を減らす取り組みを行うことを決定しております。これらの取り組みにおいては、まず地域における二酸化炭素排出の特性を調べるとともに、削減に向けた目標を立て、行動していくことになります。その

ひとつが再生エネルギーの活用です。太陽光や風力、家畜ふん尿、木材資源等のバイオマスによる発電などが多く、先進的な取り組みも行われています。また、資源の有効活用や再資源化も重要です。家庭でもできる事として家庭ごみの削減、資源となるごみの区分、公共交通の積極的な利用、電気自動車などガソリン等の燃料使用の抑制、省エネルギーの取り組みなど、様々なことが考えられます。

このように、次世代にとって大切な地球を残すために、新たな知識を学びながら実践することは、公民館でも得意とすることではないでしょうか。公民館で生活に根差したゼロカーボン推進を学び、実践することが今こそ必要なのだと思います。

また、デジタル化も急速に進んでいます。今回のコロナ禍をきっかけに、テレワークやオンラインを活用した会議も普通に行われるなりました。子供達には一人一台パソコン等の端末が使える環境になり光ファイバーの設置も急速に進みました。

総務省の調査では、スマートフォンの世帯普及率は86%余りとなっています。携帯電話の回線についても、高速化が進み、逆にいうと昔から使っていた携帯電話いわゆる「ガラケー」が使えなくなる時期もやっ

ています。またエアコン等電力や石油熱の建物も多いですが建築物の省エネ化も進めしていく必要があります。

また、資源の有効活用や再資源化も重要です。家庭でもできる事として家庭ごみの削減、資源となるごみの区分、公共交通の積極的な利用、電気自動車などガソリン等の燃料使用の抑制、省エネルギーの取り組みなど、様々なことが考えられます。

このように、次世代にとって大切な地球を残すために、新たな知識を学びながら実践することは、公民館でも得意とすることではないでしょうか。公民館で生活に根差したゼロカーボン推進を学び、実践することが今こそ必要なのだと思います。

また、デジタル化も急速に進んでいます。今回のコロナ禍をきっかけに、テレワークやオンラインを活用した会議も普通に行われるなりました。子供達には一人一台パソコン等の端末が使える環境になり光ファイバーの設置も急速に進みました。

総務省の調査では、スマートフォンの世帯普及率は86%余りとなっています。携帯電話の回線についても、高速化が進み、逆にいうと昔から使っていた携帯電話いわゆる「ガラケー」が使えなくなる時期もやっ

てきます。スマートホンは昔のパソコンよりも高性能で、いろいろなことができます。その分分かりにくくとも多く、特に高齢の方にとつてみると使うのに躊躇する人も多いのではないかでしょうか。高齢者向けのスマートフォンもありますが分かりやすく、丈夫な機種が出てくることも大事ですし、使い方を学ぶ機会も多くしなければなりません。

それぞれの公民館でもシニア向けのスマートフォン教室なども進められていると思います。是非各地域の取り組みを共有しながら地域のデジタル化を進めていければと思っていました。公民館でもワифァイが整備されている地域も多くなっています。子供が高齢者に教えることも社会教育の一環です。高齢者の認知症予防のためゲームを活用することも増えてきました。今では「『スポーツ』ということで、単なるゲームというより、競技性も増しています。オンラインで共に楽しむ場面も多くなっています。

対面で事業を行うことは、公民館にとって大切な事ですが、新たな時代に新しい技術や考え方を学んでいくことも大切です。この機会に「ゼロカーボン」と「デジタル化」をそれぞれの公民館で取り組んでいたり、思っています。

依然として続くコロナ禍において、この原稿を書いている今日は「東京で 4 万人を超える新規感染者が見込まれている」との情報が飛び込んできました。2 年前に得体の世界が恐怖に包まれました。政府による緊急事態宣言の発出や医療機関の対応等は並々ならぬ覚悟によつて進められました。

公益社団法人全国公民館連合会 会長 中西 彰



### 主体性のある公民館を目指す

主たる活動は、

令和 2 年 5 月から各業界が発出した感染拡大予防ガイドラインがあり、本連合会も公民館のガイドラインを公表しましたが、当初版は各団体横並びの内容でした。当時は活動をある程度犠牲にしてでも感染拡大を防ぐという目的により多くの団体が政府の対処方針をほぼそのまま掲載するような状態でした。その後活動の再開に向けて試行錯誤を繰り返しながら主体的な改訂を続け、専門家の知見や全国各地の対策の結果から武道で言うところの「見切り」のように対策が洗練されていきました。国民一人ひとりも注意点を認識し、それぞれで対策を実施することで徐々に社会生活を取り戻してきました。公民館の活動も徐々に活発になりました。

この 2 年半は「主体性」について

ここでは組織としての主体性に注目します。当然の事ですが、組織の長の主体性はとても重要です。しかし、組織の長だけが主体性を発揮している場合は「支配的」「独善的」「強行的」な印象を受けます。そのため、多くの健全な組織は、関与する関係者それが個人の主体性を発揮することを前提に組織の主体性につなげ、各ステージで役割を担っている人々が対話を通じて結論に向かうことを重視しています。

また、各事業所等も運営について休業等の決断に迫られました。自治体でも責任ある立場から生活支援等において多くの決断が行われました。更別村の国の支援対象にならない事業者や緊急性を踏まえた給付金の拠出が大きく報道されました。また、公民館でのワクチン接種のインターネットを通じた予約サポート実施の報道も北海道から届きました。

教育業界での使い分けもありますが、実社会において少し意味合いに差を設けると、主体性は個人の要望が主となり、主体性は周囲との関係など、「社会性」を含むものと理解しています。

ここでは組織としての主体性に注目します。当然の事ですが、組織の長の主体性はとても重要です。しかし、組織の長だけが主体性を発揮している場合は「支配的」「独善的」「強行的」な印象を受けます。そのため、多くの健全な組織は、関与する関係者それが個人の主体性を発揮することを前提に組織の主体性につなげ、各ステージで役割を担っている人々が対話を通じて結論に向かうことを重視しています。

対話から前に進むことを摸索しても、対話する人が双方に主体性がなければ対話の意味も効果も半減します。組織の長の発言をそのまま受け入れるだけでは不健全であるし、組織の長自身の孤立も避けられません。しかし、人にはそれぞれ個性があり、必ずしも全員が主体性を発揮できるとは限りません。また、有限な人的資産の中での話となるため、

明確な正解があるとも限りません。

明確な正解があるとも限りません。そこで必要になるのが適切な人事です。組織の人事は当然としても、地縁による緩やかな集合体であるところから会社や団体のような確立したチームで動くことはありません。必要に応じて手入れしないと「そして誰もいなくなつた」と地域の担い手がいなくなつてしまふ危険があります。そこで公民館のような「主体的に地域住民を呼び込み、対話や交流を通じて気づきを促し、地域社会の構成者としての意識を共有して関係性をつくる」という私達が標榜している「集い・学び・結ぶ」を実現していくことが地域の主体性を育み、健全な地域社会の発展を促進します。それを理解した自治体は公民館以外でも実践がありますが、理解していない場合は公民館でもその実践はありません。

# 北海道公民館振興首長会

## 戦略構築の必要性な 首長会としての中長期な



首長会としての中長期な  
戦略構築の

戦略構築の必要性

ーマに行政報告がなされました。公民館の成り立ちと現状・課題、今後の社会教育施策の方向性、公民館の方向性という公民館本来の機能や歴史、原点に立ち返った公民館運動の在り方など、分りやすい内容でありました。特に「公民館のICT化」新しい技術を活用した「つながり」の拡大」という内容で各地の先進的な事例やわが更別村のデジタル田園都市国家構想についての紹介を行つていただきました。

さらには財政面での自立もそろそろ考えていかなければならない時期に来ていると思います。また運営体制の強化についても考えなければなりません、会員各位の皆様のお知恵を拝借できればと、考えていいるところです。第七波が席巻していくす。しっかりと感染防止の施策を講じながら町づくりに取り組んでまいりたいものです。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りしております。

大会では地方自治の担い手である市町村長の皆様を含めたシンポジウムが予定されています。北海道議会議員を始めとした有識者を含めた強い主体性を求められる立場からの宣言に触れることが期待されます。

この企画を実現することにも主体性は必要不可欠であり、北海道公明館協会の関係者の皆様の主体性に感謝と敬意をもつて当日を楽しみにしています。是非、多くの人に参加していただきたいと願っています。

たのではないかと感じております。特に元ヤクルト選手、その後日本ハムヘッズコーチを経て現在札幌国際大学人間学部部長である阿井英二郎氏の「自治体における人材育成」リーダーが身につけておきたいこと「」と題しての講演は幾多の貴重な経験に裏付けされた、とても意義深いものでありました。自己認識能力、醸成とリーダーとしての意思決定能力（目標達成能力）、更にはコーチの視点からの「相手の感覚を共感的に理解する」ことの大切さについては、大変興味深くお話を聞かせていただきました。先生には大変お忙しい中、ありがとうございました。

また、山形県農林水産部専門大型備推進監兼次長の神山修氏より「中山間地域の農用地の保全と農村型地域運営組織（農村RMO）」の形成についてのお話があり、高齢化で悩む集落での地域組織の再編の重要性について触れられました。

その後、対談という事で東京大学大学院牧野篤教授と神山氏が登壇され、毎回のごとく痛快で理路整然としたお二人のお話に会場参加者から共感の渦が巻き起こりました。ご来賓として倉本教育長様はじめ、参加された皆様本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

令和4年度より首長会役員	会長	更別村村長	西山猛
	副会長	釧路市市長	蟾名大也
	副会長	鹿部町町長	盛田昌彦
	理事	名寄市市長	加藤剛士
	理事	東神楽町長	山本進
	理事	前平取町長	川上満
新たに新任されました	理事	壮瞥町町長	田鍋敏也
皆様よろしくお願ひいたします。	理 事	池田 誠	
11月道・道教委へ陳情要請予定	全道公民館職員研修会開催レポート	6月30日（木）に令和4年度全道公民館職員研修会が開催されました。「コロナ禍に振り回されない北海道の地域づくり」をテーマとして、これから公民館活動は地域と連携しながら何ができるかを模索することとしました。	講師には、大分大学教育マネジメント機構基盤教育センターの岡田正彦教授をお招きして「地域づくりにおける公民館の果たす役割～公民館が地域と考える～」のテーマのもと、午前中は公民館が地域と考え、地域に出向き、地域のつながり、全体で効果を發揮するための基本的な課題・目的の設定や取り組みの振り返りと改善について、具体的な手法を織り交ぜながら丁寧な講義を展開していました。

岡田教授に置かれましては、昨年度の社会主事講習にも講師として社会教育と公民館の在り方について講義を行われていたことから馴染みの参加者も多かつたと思ひます。印象的であつたのが、社会教育における地域課題には共通課題と地域特有の課題に分かれていること。いかに具体化し課題設定していくかと、いうこと。また、取組への三つのフレーズ（インプット、スループレット、アウトプット）の意識づけによる取り組みの必要性を話されていました。参加者の多くは常に意識しながら行動されていることでしょう。

岡田教授は取り組んだ結果の検証において「立ち止まり」の必要性も強調されていました。市町村の業務を意識して、①計画、②実行、③検証、④次年度予算というサイクルを考え、評価をしつかりと行っているのかという、常日頃感じる疑問にも的確に触れていただきました。

午後からは、寿都町並びに大樹町の事例発表が行われました。岡田教授からのアドバイス・意見交換も行う予定でしたが、教授の提案で両町の取り組みに対する感想をグループ内で話し合う時間を設け、コロナ禍で思うように行われなかつたグループワークが短時間ではありましたが実践することができました。また事例発表を行つた両町に対する質疑

ごされたかと思います。まだ、感染症対策は気を抜けない状況でありますしつかりとした対策を施し、ZOOM等のリモートも有効に駆使しながら、会員の皆様に有意義な研修機会を提供していく考えであります。

北海道公民館協会が創立70年を経過し、社会情勢も大きく変化し続けています。冒頭申し上げたとおり全道職員研修会も、これまでの受講型から会員市町村からの事例発表を織り交ぜながら、皆さんとともに新しい公民館活動の在り方を模索しきれいなところに至りました。コロナ禍においても地域住民が孤立せず、地域コミュニティの中心が公民館（類似施設も含む）であり続けられるよう、参加型の研修時間も設けながら充実した研修機会の提供に努めてまいります。

の事例発表、発表者も参加者も新たな学びが出来たと感じました。大分大学の岡田教授によるアドバイス・参加者の皆さんとの声を公民館の仲間や、地域に拡散していくことについています。

7月8日の公民館振興首長会総会・全道市町村長等研修会も無事終了。文科省からは小屋松補佐に行政説明をいただきました。公民館で使える新しい資料が届き、良い情報として役立てていきたいと思います。

第44回全国公民館研究集会北海道大会兼第66回北海道公民館大会日程 令和4年10月20日（木）・21日（金）

会場 札幌市かでる2・7  
新型コロナウイルスの状況もありますが、令和3年度のように徹底した注意を払い、できる限り、予定通り進めて学びたいと考えています。皆様のご理解をいただき参加よろしくお願ひいたします。11月には今年度も道教委から生活習慣の事業を頼まれましたので行いたいと考えております。

第1水曜日か第2水曜日あたりと考えていますが、講師の先生方の日程調整がまだなので決まり次第お知らせいたします。リモート参加も考えております。

## 道教委通=

### ★社会教育主事講習について

北海道においては、市町村教育委員会の社会教育主事の配置率が約7割となつており、教育関係者からは未配置市町村の社会教育行政の機能低下が指摘されていました。

そこで、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりを推進するためには、戦略的に社会教育主事・社会教育士を養成し、地域の取組をけん引する人材育成が必要であるとの考え方から、令和2年度から、北海道立生涯学習推進センターが、社会教育主事講習を実施しております。

これまで本道の社会教育主事講習は、札幌市において、学校の夏季休業中に集中的に実施されていましたが、広大な北海道において、札幌市から遠い地域の市町村にとつては、講習参加に伴う旅費などは大きな負担であることに加え、職員を長期の研修に参加させることに二の足を踏む市町村教委が多いことな

どが、受講者の減少、そして、配置率の低下につながつていきました。こうした、課題の解消のため、当センターでは、『オンライン(SOM)』を活用し自宅や職場でのオンライン受講の実施【今年度は、一部集合(対面)による講義も設け、対面とオンラインを適切に組み合わせた講習を実施】や、科目ごとに分散した日程を設定など講習を進める上での工夫を行つております。

なお、冬期の講習については、十月以降から申込みを受け付ける予定としておりますので、ぜひ多くの方の受講をお待ちしております。

### ★令和5年度全国高等学校総合体育大会について

国内最大規模の高校生スポーツの祭典である、全国高等学校総合体育大会いわゆるインターハイが、三十六年ぶりに本道で開催されます。全道の高等学校会場地となる市や町、関係機関や競技団体、関係部局とも連携・協力しながら、多くの方々の記憶に残る大会となるよう、「オール北海道」で準備を進めていますので、ぜひ本会加盟市町村におかれましてもご理解ご協力をよろしくお願ひします。

## 令和4年度社会教育主事講習の実施の概要

### 【社会教育主事講習について】

○地域における生涯学習の推進を支える社会教育主事・社会教育士の育成のため、社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規定に基づき、文部科学省から委託を受け、社会教育主事となれる資格を付与することを目的とした講習を実施しています。

### 【令和3年度の講習実施の概況】

- オンラインでの実施により、負担の軽減・感染症対策になり、受講できる人が増えた。
- 演習についても、Googleツールを活用することで、ある程度の研修の質を確保できた。
- オンラインでの実施は、メリット(移動時間・経費等)が大きい反面、間接性を構築していく、集中の持続が難しい等の課題もある。

### 【北海道の現状(アンケート等から)】

- 道内の市町村教育委員会の社会教育主事配置率:68.7%(123/179) ※R3.11.1現在
- 自治体職員は7月~9月の平日に週2~3日で実施する形が受講しやすい(88/179)
- 教職員は長期休業中・オンラインの活用による実施が受講しやすい



↑ 令和3年度の講習の様子

## 令和4年度の社会教育主事講習の実施の工夫

### 【実施方法】

- オンラインをベースに、一部、ファシリテーション・プレゼンテーションについては、対面で実施する。(8/9-10・11/10-11は札幌・函館・旭川・帯広の会場で実施する)
- Googleツールを活用し、資料・課題の受け渡し、グループワークの実施、Chatによる交流などを実施する。

### 【会場・日程の設定】

- 主に自治体職員向けのA日程、教職員向けのB日程をそれぞれに合う形で設定する。

### 【A日程】～自治体職員向け

- ・7月～9月の平日に週2～3日を中心とする日程を設定する。

### 【B日程】～教職員向け

- ・日程は冬季休業集中になるべく短まるようにする。
- ・合宿形式の実施はコロナ禍においては避ける。
- ・A日程の録画教材を試行的に作成し、B日程で活用する。

### A日程(平日分散型) 20日間 募集5月予定

生涯学習概論 5日間 7/7(木)～8(金) 7/13(水)～15(金)	社会教育経営論 5日間 7/21(木)～22(金) 7/26(火)～28(木)
生涯学習支援論 5日間 8/3(水)～5(金) 8/9(火)～10(水)	社会教育演習 5日間 8/24(水)～26(金) 9/2(金)～3(土)

### B日程(冬季休業集中型) 20日間 募集10月予定

生涯学習概論 5日間 11/12(土),13(日),19(土),26(土),12/3(土)	社会教育経営論 5日間 12/10(土),17(土),24(土),26(月),27(火)
生涯学習支援論 5日間 12/28(水),1/5(木),6(金),10(火),11(水)	社会教育演習 5日間 1/21(金)～23(日), 1/29(土)～30(日)